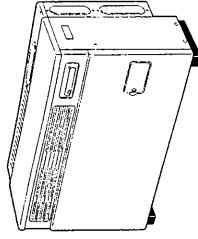
MITSUBISHI

VGB-935H2	個別運転・集中管理システム運転兼用形
VGB-935H2-DN	集中管理システム運転専用形
VGB-935H2-PH	個別運転・集中管理システム運転兼用形 外装補強タイプ

三菱<強制給排気式ガスストーブ>クリーンヒーター

型式名
VGB-935H2(個別運転・集中管理システム運転兼用形)

お客さま用

取扱説明書

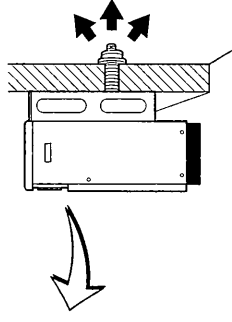
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに同梱の保証書と共に保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、大切に保管してください。
この製品は給排気工事を必要としますので、**据付工事はお客さまご自身でしないでください。**
(安全や機能の確保ができません。)

0507873HK2201

主な特長

人にやさしいFF〔強制給排気〕式

暖かくて、空気も汚さない

(FF：強制給排気式)
外の空気を使ってパワフル燃焼。
燃焼排ガスを外へ出すからお部屋の空気は汚れない。
換気のために窓を開けなくてもいい。

個別運転・集中管理システム運転兼用形

この製品は、運転切換スイッチを切換えることにより、個別運転と集中管理システムによる運転のどちらでもご使用いただけます。
(集中管理システムによる運転を行う場合は、別途に、集中管理システムをお求めいただくことが必要です)

集中管理システム運転専用形 (VGB-935H2-DN)

この製品は、集中管理システムの親機によって運転されます。

1. **操作部ドアーがありません。**
   - 試運転などの場合には、フロントカバーをはずして行ってください。
2. **風向きの調節は左右方向のみ可能です。**
   (上下方向は調節できません)

個別運転・集中管理システム運転兼用形・外装補強タイプ (VGB-935H2-PH)

この製品は、個別運転・集中管理システム運転兼用形でフロントカバー・上部ケーシングが補強されています。

もくじ

次のようなマークで
必要な情報を示しています。

[お願い] 正しく使っていただくための情報です。

より便利にご使用いただくための情報です。

細部の機能説明です。

参照ページを示します。

安全のために必ずお守りください

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

●表示と意味は、次のとおりになっています。

表示	意味
⚠危険	誤った取扱をしたときに、死亡や重傷・火災の危険に結びつくもの
⚠警告	誤った取扱をしたときに死亡や重傷・火災などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

図記号	意味	図記号	意味
⊘	禁止	●	指示に従い必ず行う
⊘	分解禁止	●	電源プラグを抜く
⊘	接触禁止	⚠	注意を表わす
⊘	ぬれ手禁止	⚠	火災注意

⚠危険

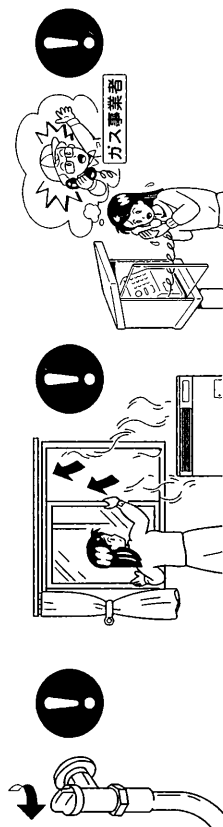
ガス漏れ時使用厳禁

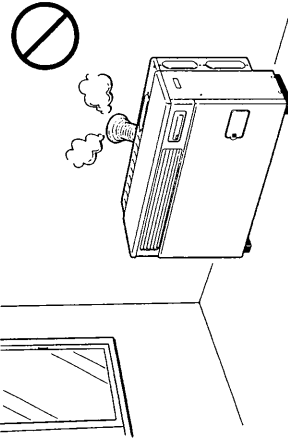
ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない

【炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります】

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる

②窓や戸を開けガスを外へ出す

③もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する

室内排気厳禁

(給排気工事をしないで使用厳禁)

(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

記号	意味	記号	意味
⊘	禁止	●	指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止	△	注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意

安全のために必ずお守りください

⚠警告

使用ガス・電源について確認

製品右側面に貼り付けてある銘板で確認する

銘板の貼り付け位置は11ページの「各部のなまえとはたらき」をごらんください。

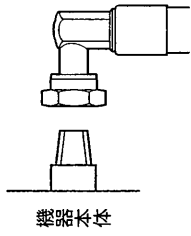
例

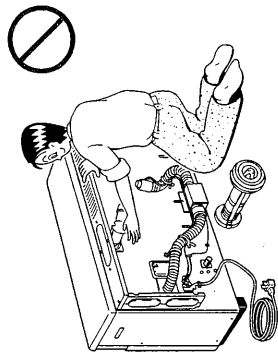
VGB-935H2
都市ガス (12A, 13A用)
ガス消費量 12A 10.0kW
13A 10.7kW
設置の方式 外壁用
定格電圧 AC 100V
定格消費電力 89W/98W
定格周波数 50Hz/60Hz
三菱電機株式会社
この製品は
50Hz用
に調整してあります
60Hz地区の場合は給気ホースのジョイントにHz切換ダンパーを挿入する必要があります。

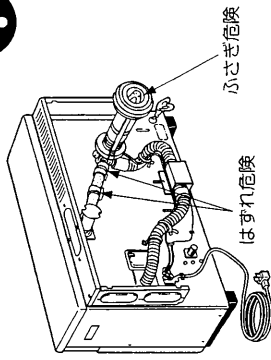
（ガス種や電源が間違っていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火することがあります特に転居の際には必ずご確認ください）

ガス事故防止

強化ガスホースで接続する

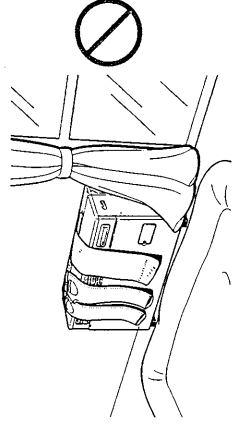
ねじ接続工事には専門の資格・技術が必要です。
販売店・工事店に接続を依頼してください。

お客さま自身で据付工事をしない

移設時を含め、必ずお買上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください

（不備があると、燃焼排ガス漏れ、感電、火災の原因になります）

給排気筒のはずれやふさがれていないか確認

（はずれていたり、ふさがれていると燃焼排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因となります）

⚠警告

火災予防

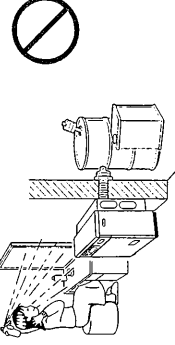
燃えやすいものの近接禁止

（火災の原因になります）

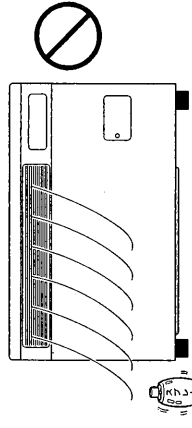
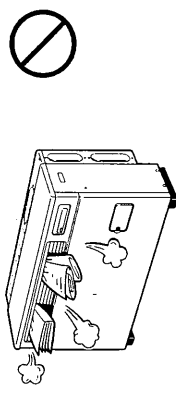
引火のおそれがあるもの使用禁止

製品や給排気筒トップの周囲にはガソリン・シンナー・スプレーなど引火しやすいものを近づけない

（引火して火災のおそれがあります）

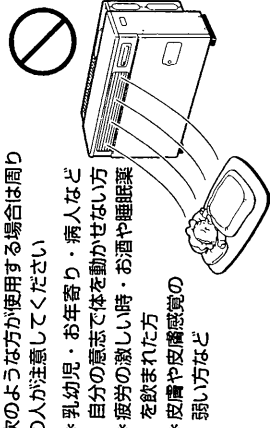
温風吹出口・空気吸込口をふさがない

紙・布・異物などを入れたり、開口部をふさいだりしない

（異常過熱し、火災の原因になります）

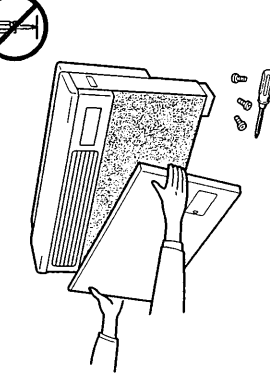
スプレー缶放置厳禁

（熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります）

低温やけどに注意

温風が直接あたる場所で就寝しない 温風を長時間直接体に当てない

次のような方が使用する場合は周りの人が注意してください

＊乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
＊疲労の激しい時・お酒や睡眠薬を飲まれた方
＊皮膚や皮膚感覚の弱い方など

（低温やけど・脱水症状の原因になります 体調悪化や健康障害の原因になります）

分解・改造禁止

修理技術者以外の人は分解・修理を行わないでください

（思わぬ事故や故障の原因になります）

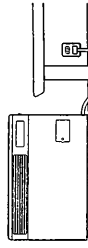
⃠	禁止	❗	指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止	⚠	注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意

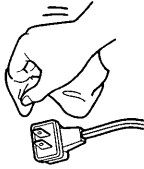
⚠警告

電気事故防止

ぬれた手でプラグの抜き差しをしない

（感電のおそれがあります）

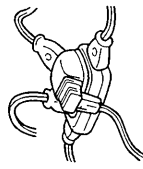
コードの束ね、加工延長、物乗せ禁止

（火災や感電の原因になります）

プラグのほこりは拭きとる

（長期間放置すると、ほこりなどによりプラグ発火の原因になります）

プラグは確実に差し込む

（差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります）

許容電力以上の使用禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使わない

（たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります）

異常時の処置

使用中に異常な燃焼、臭気、音、温度を感じた場合
使用途中で消火する場合

⇩

運転を停止し、ガス栓を閉じて電源プラグを抜く

⇩

故障異常の見分け方と処置方法（20～22ページ）に従い処置をする
上記の処置をしても直らない場合はお買上げの販売店に連絡する

地震・火災など緊急の場合

⇩

迅速に運転を停止し、ガス栓を閉じて電源プラグを抜く

安全のために必ずお守りください

⚠注意

やけどに注意

高温部にさわらない

温風吹出口や給排気筒トップは使用中や使用直後は高温になっています

（やけどをします）

触れるおそれのある場合はシステム部材のトップガード、グリルガードをご使用ください

けがに注意

温風吹出口などに指をいれない

（端面などでけがをするおそれがあります）

燃焼排ガスに注意

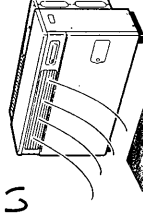
愛がん動物や植木などに燃焼排ガスをあてない

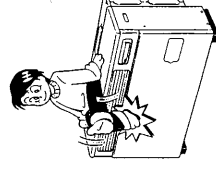
（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）

コードを持って引き抜かない

（断線して発熱や発火の原因になります）

使用中にエアーフィルターをはずさない

エアーフィルターをはずしたまま使用しない

（ほこりが製品内部に入り、発火して火災の原因になります）

腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない

（変形・故障や給排気部品がはずれる原因になります）

子供に対する注意

小さなお子様が遊んだり、いたずらしないように注意してください

（思わぬ事故につながるおそれがあります）

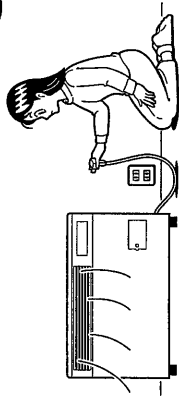
安全のためのお願い

禁止	指示に従い必ず行う
分解禁止	電源プラグを抜く
接触禁止	注意を表わす
ぬれ手禁止	火災注意

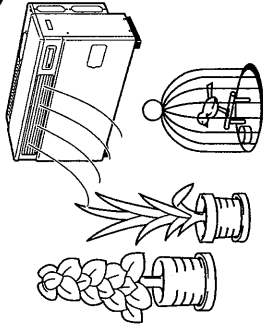
燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切らない

(余熱により故障する原因になります)

雷時の注意

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを抜く

(雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります)

標高2000m以上の高地では使用しない

(不完全燃焼の原因になります)

製品を水洗いしない また、濡れた手で操作しない

(感電の原因になります)

動植物に直接風をあてない

(悪影響を及ぼす原因になります)

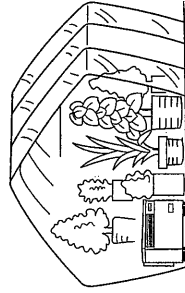
ご使用のまえに

安全のためのお願い
安全のために必ずお守りください

安全のためのお願い

禁止	指示に従い必ず行う
分解禁止	電源プラグを抜く
接触禁止	注意を表わす
ぬれ手禁止	火災注意

他の目的に使用しない

食品・動植物・精密機器・美術品などの保存等特殊な用途には使用しない

(美術品などの品質が低下する原因になります)

使用されないとき、外出の際には必ず部屋のガス栓を閉めてください

各部のなまえとはたらき

正面

燃焼確認窓
燃焼を確認する窓です。

上下可変ルーバー
風向きを上下に変えられます。17ページ

温風吹出口

ルームサーモ
製品内部（エアーフィルター上部）にあり、室温を検知するためのものです。

エアーフィルター
室内空気吸込口にあって空気中のほこりを取除きます。

操作部
ドアを開けて操作します。（鍵付）

確認ランプ
運転中点灯します。

運転切換スイッチ
個別運転と集中管理運転の切換えに使います。16ページ

操作ドア内部の操作部
運転切換
個別運転 ■ 集中管理運転
室温調節
1・2・3・4・5 連続運転
運転スイッチ
切 入

銘板
適合するガス種・電源が表示してあります。

室温調節つまみ
設定温度を調節するつまみです。15ページ

運転スイッチ
個別運転時は運転開始および停止に使います。
集中管理運転時は「入」状態にします。14ページ

背面

C形ストッパー
背面カバー
ガス接続口
電源プラグ
排気筒

給気口
燃焼用空気を吸い込みます。

給排気筒トップ

排気口
燃焼排ガスが出ます。

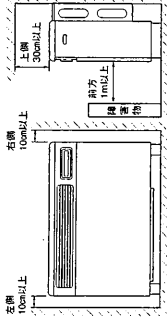
集中管理運転用子機接続コネクター
集中管理システム子機取付位置
給気ホース

据付けの確認

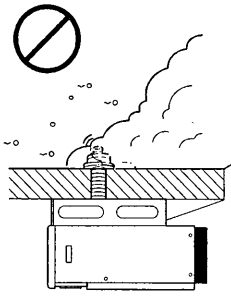
機器の設置・移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。お客さまご自身で工事された場合、工事に起因する不備は保証の対象外となります。

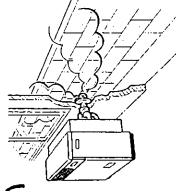
⚠警告

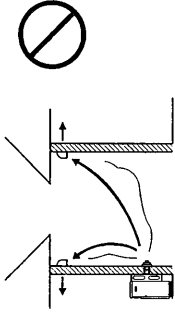
製品と周囲との離隔距離

製品を据付ける場合は、火災予防のため「ガス機器の設置基準及び実務指針」に定められた寸法および、据付工事、給排気周りの点検、アフターサービスを行うために必要な下記の空間寸法を必ずとってください。

	理由
上側	据付工事、エアーフィルターの清掃
左側	壁の変色防止
右側	アフターサービス
前方	温風の短絡防止

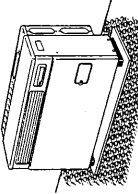
●ガス栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください
●電源コードが排気筒に接触しないよう十分離してください
[詳しくは設置工事説明書をご覧ください]

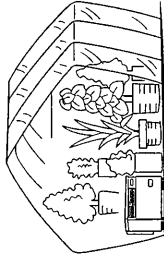
給排気筒トップが積雪や屋根から落ちた雪でふさがらないようにする
厳寒地域では給排気筒トップにつららがつくことがありますので注意してください
(ふさがると運転停止や爆発点火することがあります)

積雪時には給排気筒トップの点検と除雪を行ってください

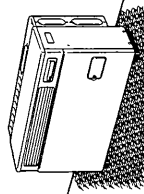
⚠注意

燃焼排ガスがよどむ場所には据付けない
（燃焼排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こしたり、運転停止したりすることがあります）

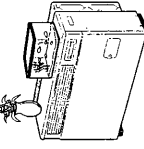
燃焼排ガスが室内(隣家も含め)に入りやすいところには据付けない
(室内空気が汚染されます)

⃠	禁止	❗	指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止	⚠	注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意

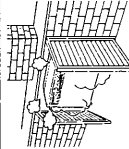
⚠注意

毛足の長いじゅうたんの上に据付ける場合は、安定のよい敷き板などを敷いて水平にする

(製品が不安定になることがあります)

温室・動植物の飼育室など、特殊な場所には据付けない

(植物が枯れたり、動物が死亡することがあります)

電気カーペット・温水マットの上には据付けない

(重みで電気カーペット・温水マットが故障することがあります)

水のかかる場所には据付けない 製品の上に花びんや金魚ばちを置かない

(製品内部に浸水するおそれがあり、絶縁劣化による感電の原因となります)

温風吹出口前方にギャラリ(格子)を取付けない

(室温調節が正しく行われないうえ、高温となり火災の原因となります)

使用前の準備

運転開始前の準備

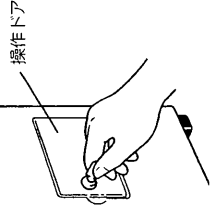
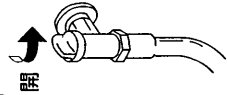
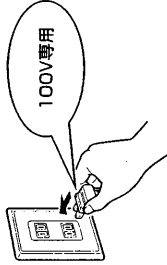
1 電源プラグをコンセントに差し込む

100V専用

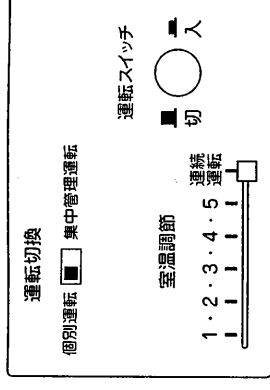
2 部屋のガス栓を全開にする

開

3 操作ドアの鍵を開けます

操作ドア

据付けの確認　ご使用のまえに　使いかた　使用前の準備

この製品は個別運転と集中管理システムによる運転ができます

個別運転(点火・消火)

点火のしかた　個別運転

1 運転切換スイッチを「個別運転」にします

運転切換
個別運転　集中管理運転

●工場出荷時は「個別運転」にセットされています。

2 運転スイッチを押して「入」にします

運転スイッチ　切　入

●確認ランプが点灯します。
●点火したことを確認します。
　(燃焼確認窓で確認します)
●温風がゆるやかに出はじめ、徐々に増加します。

消火のしかた　個別運転

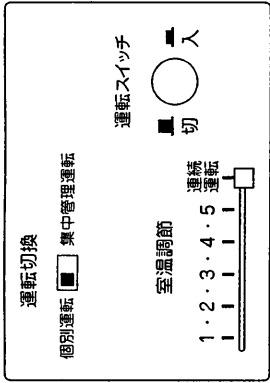
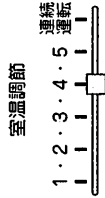
1 運転スイッチを押して「切」にします

運転スイッチ　切　入

●確認ランプが消灯し、燃焼を停止します。
●消火後3～4分温風が出て内部の温度が下がったら送風が止まります。

このため、コンセントから電源プラグを抜いて消火することはしないでください。

室温調節のしかた

ルームサーモが室温を検知し、燃焼量の制御(強燃焼・弱燃焼)・消火の組合わせにより、室温を自動的に設定温度に保ちます。

1 室温調節つまみをお好みの位置にセットします

室温調節
1・2・3・4・5 連続運転

●「1」から「5」の範囲で、どの位置にも無段階にセットできます。
（「連続運転」は試運転を行うときに使用します）

室温調節つまみの目盛りと設定温度のめやす

目盛り	設定温度のめやす
1	8℃くらい
3	20℃くらい
5	30℃くらい
連続運転	40℃以下では連続運転

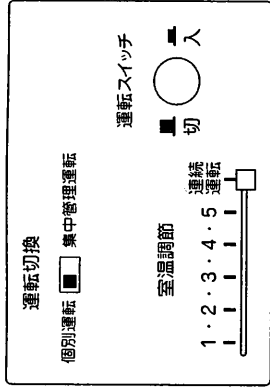
ミニ情報

●室温調節つまみを連続運転にしても室温が40℃以上になりますと運転を停止します。
●室温調節つまみでセットした温度より室温のほうが高い場合には運転しません。

[お願い]

●室内温度は、家屋の構造、設置位置、外気温度などによって必ずしも上表の設定温度のめやすとは一致しません。あくまでもめやすと考えてください。
●製品の前方近くに障害物がありますと、温風がすぐにもどり、室温調節がひんぱんに作動して暖まらないことがありますので、障害物を取り除いてください。

集中管理システムによる運転

集中管理システムによる運転を行う場合は、下記の設定を行ったうえで親機により操作します。

運転切換
個別運転 集中管理運転
運転スイッチ
室温調節
切 入
1・2・3・4・5 連続運転

1 運転切換スイッチを「集中管理運転」にします

運転切換
個別運転 集中管理運転

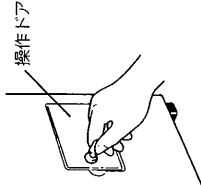
2 運転スイッチを押して「入」にします

運転スイッチ
切 入

3 室温調節をします …… 15ページ

室温調節
1・2・3・4・5 連続運転

4 操作ドアの鍵を閉めます

操作ドア

停電のとき

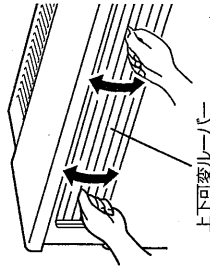
停電のとき

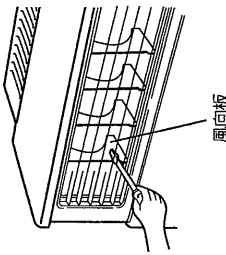
個別運転中に停電があったときは、運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください ……… 20ページ
集中管理システムによる運転のときは、親機で操作を行ってください。

風向き調節のしかた

風向き調節のしかた

風向きは上下可変ルーバーで上・下に、風向板で左・右に調節することができます。

風向きを上下に変える場合

風向きを上・下に変えるには、上下可変ルーバーを上・下に動かします。

風向きを左右に変える場合

風向きを左・右に変えるには、温風吹出口の奥の風向板を棒状のもの（ドライバーなど）で動かします。

⚠注意 使用中や使用直後は高温になっていますので、絶対に風向きの調節はしないでください。

［お願い］ ●左右の調節は3～5回が限度です。それ以上動かすと折れることがあります。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのとき

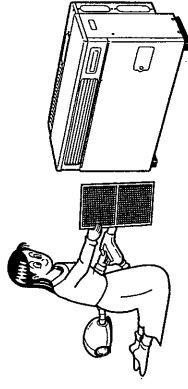
●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、ガス栓を閉じて製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際はけが防止のために手袋の着用をおすすめします。

■シーズンはじめ

●**給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認します。**

●**給排気筒トップ**
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。

■1週間に1回以上

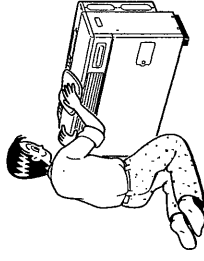
●**エアーフィルターの清掃**
エアーフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除きます。
温風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行うと本体内部にほこりが入ることがあります。

■使用のたびに

●**燃焼排ガス**
燃焼排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。燃焼排ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

●**ガス漏れ**
製品周辺がガス臭くないか点検します。

●**周囲の可燃物・引火物**
製品の上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検します。

■1か月に1回以上

●**外観の清掃**
製品外観・温風吹出口などの汚れは乾いたややわらかい布などできれいにふきとります。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
（塗装面やプラスチックをいためます）

定期点検

強制給排気式ガスストーブ「クリーンヒーター」は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買上げになった販売店にご相談ください。

★定期点検

定期点検は専門の技術者が、据付状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

★お申し込み先

お客さま→お買上げになった販売店、またはお近くの三菱電機修理窓口

★定期点検費用

定期点検の費用についてはお買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客さまにご相談申しあげます。

定期点検の内容

	定期点検の内容	項目
1	据付状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●ガス漏れ ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●操作部品や動く部品の働き
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風吹出口

故障・異常の見分けかたと処置方法

■故障かな？ と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。修理に出す前に、もう一度次の点をお調べください。

症状	原因	処置方法
確認ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	個別運転：運転切換スイッチが「集中管理運転」になっている	「個別運転」に切換える 14ページ
	集中管理運転：運転スイッチが「切」になっている	運転スイッチを「入」にする
	集中管理運転：運転切換スイッチが「個別運転」になっている	「集中管理運転」に切換える 16ページ
点火しない	ガス栓が全開になっていない	全開にする
	給排気筒トップの給気口、排気口がふさがれている	取り除く
	運転スイッチが「入」のまま電源プラグをコンセントに差し込んだ	運転スイッチを押しなおす
	排気筒、給気ホースの長さが長すぎる	点検して修理を依頼する
	排気筒に直径34mmの細いパイプが使用してある	
	排気筒の接続部がはずれている	
燃焼が途中で止まる	停電があった	運転スイッチを押しなおす 集中管理システム運転中は親機で運転操作を行う 17ページ
	給排気筒トップの先端部(屋外)が障害物や積雪による囲い状態になっている	取り除く
	エアーフィルターにほこりがつまっている	
	排気筒の途中にへこみ部がある	点検して修理を依頼する

上記の処置をしてもなおらない場合や、修理が必要な場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。その後お買上げの販売店か、お近くの三菱電機修理窓口にご相談ください。

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません。

	症状	原因と対策
点火時	シーズン始め、または長時間運転しなかったとき、なかなか点火しない	ガス配管の中に空気が入っていることがありますので3～4回点火操作を繰り返して点火すれば正常です
点火時	初めて運転したとき、またはシーズン始めに煙やにおいがする	内部の熱交換器などに付着した油やほこりが焼けるためです しばらく換気しながらご使用ください
点火時	ピシッピシッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
点火時	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	室内温度が設定温度より高いと点火しません 15ページ
燃焼時	暖まらない	製品の前方に障害物などがあると、温風がすぐにもどり、室温調節がひんぱんに作動して暖まらないことがあります 障害物を取り除いてください
燃焼時	給排気筒トップから湯気が出る	燃焼排ガスは水蒸気を多く含んでいます 水蒸気が冷たい外気にふれて白く見えるためです
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
消火時・その他	運転スイッチを「切」にしてもすぐに温風が止まらない	数分間製品内部を冷やしてから自動的に止まります 14ページ
消火時・その他	部屋が乾燥する	部屋の温度が上がると湿度が下がります 市販の加湿器をご使用ください

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。その後お買上げの販売店か、お近くの三菱電機修理窓口にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店か、お近くの三菱電機修理窓口に修理依頼してください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	● 部品が故障している ● 給排気に支障がある
燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする	燃焼排ガスが室内に漏れている

部品交換のしかた

長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。
お買上げの販売店か、お近くの三菱電機修理窓口にお問い合わせください。
専門技術者が修理いたします。不完全な修理は危険です。

■消耗、劣化しやすい部品

●各種パッキン、排気筒接続用Oリング　●点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
●給排気系部品　●燃焼系部品　●電気接点部品

長期間使用しない場合

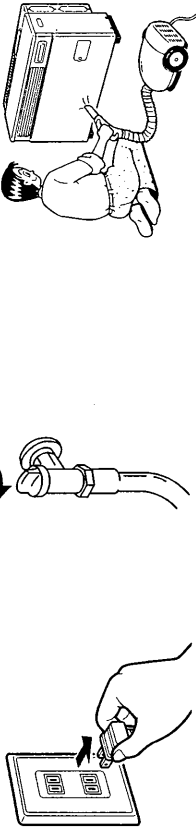
■長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

製品は据付けたままにしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 ガス栓を閉じてください。

閉

3 製品外観、エアーフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。

[お願い] やむをえず取りはずして保管するときはお客さまご自身で移動したり、据付けたりしないでください。お買上げになった販売店か、お近くの三菱電機修理窓口に依頼してください。

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りのはずれ、漏れの確認　●ガス配管からの漏れの確認

☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは、使用を中止してお買上げの販売店か、お近くの三菱電機修理窓口へ修理依頼してください。

部品交換のしかた　長期間使用しない場合
故障・異常の見分けかたと処置方法
地震などの災害が発生したときの点検
こんなとき

据付工事後の確認と試運転

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検		点検内容	チェック結果
製品およびその周辺	ガス種	銘板は使用ガス種に適合していますか。	
	電源(電圧・周波数)	銘板は使用電源(電圧・周波数)に適合していますか。	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災防止の措置は十分ですか。	
	保守・管理上の空間	操作・点検・修理に必要な空間はありますか。	
	安全据付	床面が不安定な場所に据付けてありませんか。	
		製品の壁・床への固定はされていますか。	
給排気部品	給気ホース接続部	給気ホースは確実に接続され、給気ホースバンドで固定してありますか。	
	排気筒接続部	排気筒は確実に接続され、C形ストッパーで固定してありますか。	
	排気筒及び給排気筒トップ	給排気筒トップの「上」印が上になっていますか。	
		給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
		排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
		燃焼排ガスは屋外へ排気されていますか。	
		給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
		給排気筒トップの周囲に危険物(灯油、ガソリン、シンナー等)はありませんか。	
		給排気筒トップの給気口から燃焼空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
		給排気筒トップの排気口より燃焼排ガスが出ていますか。	
		集合煙突に給排気筒トップを取付けた工事はされていませんか。	
	給排気筒延長	床下への直接排気や、天井裏への給排気工事はしてありませんか。	
		排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
		給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数が3か所以内ですか。	
		排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部分はありませんか。	
		排気筒のドレンもどり長さは2.5m以下になっていますか。	
		φ34㎜の延長排気筒が使われていませんか。	
電気配線		電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
		電源コードは高温部に触れていませんか。	
		電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
ガス接続		ガス接続は正しく接続されていますか。長さは適切ですか。	
排気筒はずれ検知リード		排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
		排気筒はずれ検知リードは、排気筒に接触していませんか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店、お近くの三菱電機修理窓口に正しい処置をご依頼ください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

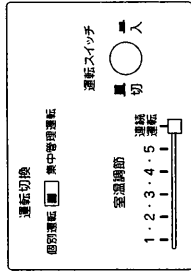
運転準備

1 電源プラグをコンセント(単相100V)に確実に差し込みます。

2 お部屋のガス栓を全開にします。

集中管理システムによる運転の場合

●子機番号の設定登録などが間違っていないか確認してください。
親機に付属の取扱説明書「子機の登録」および据付工事説明書の「システムチェック」を参照してください。

運転開始

1. 運転切換スイッチを「個別運転」にしてください。
2. 運転スイッチを押して「入」にして、「確認ランプ」が点灯することを確認してください。
3. 約20秒後に点火します。燃焼確認窓から点火したことを確認してください。
   ●室温が30℃以上ある場合に試運転するときは、「室温調節つまみ」を「連続運転」の位置にしてください。

集中管理システムによる運転の場合

4. 製品の動作確認後、運転切換スイッチを「集中管理運転」に切換えてください。
5. 親機による運転操作は、親機に付属の取扱説明書「親機の運転」に従ってください。

お知らせ

■初期運転時の現象
●初期運転時にボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
●温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。
●試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

■正常運転のめやす
●正常運転のめやすとして、20～22ページのような現象がないことを確認ください。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、**お買上げの販売店へ**お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のお問合わせは 「修理窓口」へ
●その他のお問合わせは 「ご相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
（ただし、燃焼器部分については3年間です。）

補修用性能部品の保有期間は

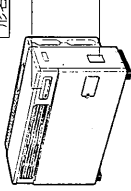
■当社は、この三菱クリーンヒーターの補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？」と思ったら(20～22ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代(出張料)などで構成されています。

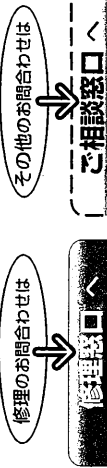
■ご連絡いただきたい内容

1. 品名クリーンヒーター
2. 形名
3. お買上げ年・月・日
4. 故障内容
   できるだけ具体的に
5. 住所・名前・電話番号
   付近の目印なども

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理のお問合わせは → **修理窓口へ**
その他のお問合わせは → **ご相談窓口へ**

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日24時間

北海道地区	
札幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	帯広 (0155) 35-3111 帯広市西15条南 14-1
旭川 (0166) 26-5580 旭川市曙1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北見 (0157) 25-7045 北見市並木町 500-5	小樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函館 (0138) 49-0345 函館市西桔梗町 589-57

K05A

修理窓口 電話受付：365日24時間

東北地区

青　森 (017) 773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184
弘　前 (0172) 32-6535 弘前市大字賓山 4-20-3
八　戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛　岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11
水　沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3
仙　台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2
石　巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-268
古　川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1
秋　田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
横　手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2
大　館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
山　形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
鶴　岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
郡　山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
会　津 (0242) 27-4426 会津若松市天寧寺町 3-7
原　町 (0244) 24-2842 原町市桜井町 1-173
いわき (0246) 26-1822 いわき市小島町 1-2-2

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
京都府・滋賀県・愛知県・三重県・岐阜県
静岡県・長野県（飯田地区）・石川県
富山県・福井県・広島県・山口県・島根県
鳥取県・岡山県・香川県・徳島県・高知県
愛媛県

フロントセンター関西
大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル
0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応）
(06) 6454-3901
FAX
(06) 6454-3900

関東・甲信越地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県
山梨県・長野県（飯田地区除く）・新潟県

フロントセンター東京
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル
0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応）
(03) 3424-1111
FAX
(03) 3424-1115

九州地区

福　岡 (092) 412-5333 福岡市博多区東那珂 3-1-21
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区昭和 2-5-25
佐　賀・久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20
唐　津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50
長　崎 (095) 834-1116 長崎市丸尾町 4-4
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市木原町 155-1
熊　本 (096) 380-0211 熊本市石原 1-10-35
八　代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
大　分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
宮　崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田150-1
延　岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
沖　縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
受付時間 365日 24時間

■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日
■通常電話番号（携帯電話対応）03-3414-9655
■FAX 03-3413-4049

■ご相談対応　平　日 9：00～19：00
土・日・祝 9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K05A

仕様

品　名		強制給排気式ガスストーブ
型　式　名		VGB-935H2
種　類	放熱方式	強制対流式
	給排気方式	密閉式（強制給排気式）
点　火　方　式		連続放電点火
定格電圧、定格周波数		AC100V　50Hz／60Hz（60Hzは調整が必要です）
消　費　電　力		定格 89W／98W
		待機時 2.8W／2.5W
電源コードの長さ		2m
給排気筒トップ	取付可能壁厚	115～240mm
	壁貫通部穴径	80mm
	最大延長長さ	4m3曲、本体へのドレン戻り長さ2.5m以下
安　全　装　置		過熱防止装置（温度センサー、温度スイッチ、温度ヒューズ） 過電流保護装置（電流ヒューズ） 停電時安全装置 立消え安全装置 排気筒はずれ検知装置
外　形　寸　法（mm）		高さ 630～666×幅 900×奥行 360（背面カバーを含む）
質　量（本体）		41kg
暖房のめやす（13A）	温暖地　木造	23畳(38m²)まで
	温暖地　コンクリート	31畳(51m²)まで
	寒冷地　木造	23畳(38m²)まで
	寒冷地　コンクリート	36畳(59.5m²)まで
排　気　温　度		260℃以下

・暖房のめやすは（社）日本ガス石油機器工業会基準による。

使用ガス、ガス消費量、暖房能力、ガス接続

型式名	使用ガスグループ		ガス消費量 kW	暖房能力 kW	ガス接続
VGB-935H	都市ガス	13A	10.7	8.77	両端ねじ継手付強化ガスホース
		12A	10.0	8.20	
		6A	10.7	8.77	
		L1（6B、6C、7C用）	10.5	8.61	
		5C	10.2	8.36	
		L2（5A、5AN、5B用）	10.2	8.36	
		L3（4A、4B、4C用）	10.0	8.20	
	LPガス		9.80	8.11	

愛情点検

★長年ご使用のクリーンヒーターの点検を！

ご使用の際 このような症状はありませんか。

●排気パイプがはずれている。
●臭いがしたり、目がチカチカする。
●本体後部の壁がススで汚れている。
●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
●その他の異常・故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

販売店名・お買上げ日

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。